

# 消防局予算の概要

## 1 予算編成に当たっての考え方

あらゆる災害に迅速・的確に対応する消防救急体制の確保や火災予防対策の推進、地域防災力の向上を着実に図れるよう、関係機関、地域、企業等の多様な主体との連携の下、持続可能な消防体制を目指す予算とした。

まず、消防・救急対策については、京都府と連携し消防ヘリコプターの運航体制を強化するほか、救急隊増隊をはじめとする救急需要対策、京都府南部消防指令センターの仮運用開始など、消防力の充実強化を図る。

また、応急手当の普及啓発として、消防団に配備しているAEDをいつでも誰でも利用可能にするAED市民利用促進事業に取り組む。

予防対策については、社会環境や火災態様の変化に適応した効果的な火災予防対策を地域・事業所等と一体となって推進し、火災の未然防止や被害の低減を図る。

消防団施策については、消防団員の負担軽減とやりがいの創出を目指した活動基盤の改善に取り組むほか、幅広い世代への入団を促進するなど、更なる充実強化を図る。

地域防災推進については、自主防災組織の相互連携や防災訓練をはじめとする地域の防災活動を支援し、安心・安全の地域づくりをより一層推進する。

これらの施策を着実に推進し、新京都戦略に掲げる「市民のいのち・暮らしを守る『安心安全で災害に強いレジリエントなまち』」の実現を目指す。

## 2 主な新規・充実事業

(1) 消防ヘリコプター運航体制強化	98,000 千円
(2) 増加する救急需要への対応	全体事業費 137,000 千円(うち充実分 40,000 千円)
(3) AED市民利用促進事業	18,000 千円
(4) DanX～消防団員の負担軽減とやりがい創出～	26,000 千円

### 3 消防局主要施策の概要

項目	主要施策の概要	本年度予算額	前年度予算額
<消防局所管>	一般会計合計	千円 27,642,000	千円 27,285,000
1 消防体制		8,177,000	8,519,000
消防・救急対策	消防活動拠点施設の整備 桂消防出張所移転整備  消防・救急活動維持管理整備 消防・救急活動機材等整備 消防ヘリコプター運航管理 消防ヘリコプター運航体制強化 消防自動車維持管理 消防水利維持管理  消防車両整備 消防自動車、救急自動車  京都府南部消防指令センター整備  京都府南部消防指令センター管理運営  消防通信維持管理整備 指令システム維持管理 など  水道事業特別会計繰出金  増加する救急需要への対応 救急隊の増隊 救急隊の適正配置に向けた西大路消防出張所建替整備  救急高度化事業 メディカルコントロール体制の推進 など  救急安心センター事業  応急手当の普及啓発 AED市民利用促進事業 予防消防推進	42,000 896,421 <新規> 672,000 5,418,000 64,000 393,600 351,382 <充実> 137,000 100,400 34,697 28,900 <新規> 38,600	149,000 1,405,675 660,000 5,190,000 - 532,300 327,821 77,000 97,200 32,804 8,600 38,600
予防対策			

項目	主要施策の概要	本年度予算額	前年度予算額
2 消防団体制		千円 865,000	千円 869,000
消防団施策	消防団活動 消防団員報酬、退職報償金、災害補償費 消防団充実強化実行チームの活動支援 京都市ジュニア消防団の活動支援 Dan X～消防団員の負担軽減とやりがい創出～<新規> など  消防団運営 京都市消防団協会交付金  消防団施設補助  消防団車両整備  消防団活動機材等整備	640,000  44,000  120,000  20,000  41,000	639,000  44,000  120,000  18,000  48,000
3 地域防災力の向上		146,000	226,000
地域防災推進	自主防災組織の災害対応力の充実 自主防災組織活動助成金 北部等山間地域自主防災組織消火活動器材整備助成金 など  市民防災センター管理運営	13,440  132,560	93,440  132,560
4 消防管理運営		18,454,000	17,671,000
人事管理	職員給与  職員の安全衛生管理、給貸与品など	17,536,000  177,000	16,634,000  166,000
庁舎管理	庁舎管理 庁舎維持補修 など	741,000	871,000

